

みんなの願いは窓口無料 おすすめ会ニュース 17-1号

2017年1月16日（月）

発行：福祉医療給付制度の改善をすすめる会

<http://www.medical-post.net/fukushi/>

（長野市高田中村276-8：長野県社保協内）

阿部知事 12月末・子ども医療費窓口無料化検討を表明 ～20数年来の要求実現の絶好チャンス 子ども・障がい者等の医療費窓口無料 化実現に向け、壮大な県民運動を！

厚生労働省は、子ども医療費助成に係って、窓口無料化を実施している市町村に対して国保の減免調整措置（いわゆるペナルティ）を12月22日厚生労働省国民健康保険課長が各都道府県あてにその一部廃止に関する事務通知を出しました。

これを受け、阿部県知事は、去る12月28日の定例記者会見で、「県としては、市町村の皆さんと一緒に子どもの医療費の現物給付化に向けた検討にできるだけ早く着手したい」「健康福祉部に対しては、見直し内容を精査しながら検討会の開催に向けた準備を早急に行うように指示」したことを明らかにしました。

この県知事の前向き発言は、国の政策変更を受けた受動的な立場からの態度表明ではありますが、一部とはいえ、福祉医療の窓口無料化に向けて、「風穴」を開けたという点では歴史的・画期的成果であり、私たちの長年の運動と県民世論の高揚を反映した結果です。また、この表明によって、窓口無料化に関して、その対象範囲などの「線引き」が大きな課題として浮上してきました。

福祉医療の窓口無料化実現は、県民世論と運動がカギ ～私たちの基本的立場と当面する要求と行動計画

こうした情勢の急展開を受け、1月のすすめる会役員会では、県知事発言に対する我々の基本的立場を確認し、「当面する要求項目」と「要求実現に向けた当面する活動計画」を決定しました。窓口無料化要求実現するカギは、新たな県民運動と県民世論の高揚にかかっています。

<私たちの基本的立場と当面する要求事項>

- ①窓口無料化に向けた阿部知事の前向き発言を歓迎し、その実現を要求する。
- ②窓口無料化は、県や市町村が現に助成している福祉医療給付範囲全体を対象とすること。
- ③「所得制限なし、受給者負担なし」とすること。
- ④当面する重要な要望として、制度を見直す際は、必ず子どもの親や障がい者等の「当事者」参加を保障すること。

以上の諸点は、県知事の窓口無料化への前向き発言を必ず実現させ、その助成条件・対象範囲等については、必ず当事者参加の中でその作業を行うことを要望するものです。

<2017年前半期の活動が重要！ 新たな県民運動をまき起こそう>

- 1) 当面の緊急行動として「当事者」の声と動きを顕在化させていく活動を展開する。そのために、当事者・関係者の熱い思いを意見発表する緊急「シンポ」「意見発表会」を開催する。

<緊急シンポ（意見発表会）の概要>

開催日時：2017年3月26日（日） 午後1時30分～4時（予定）

開催場所：長野市・高校会館

開催内容：子ども・障がい者等の医療費を窓口無料化実現のため当事者の思いを発表する

開催規模：約100名

開催形式：シンポジウム形式か意見発表会形式 ⇒上記内容については、後日具体化する。

2) 県民運動の高揚と当事者の声を顕在化させるため、**県知事への要請署名運動**を展開する。

<緊急要請事項>

①子ども・障がい者等の医療費を一刻も早く窓口無料にすること。（一刻早くを強調）

②制度を見直す際は、子どもの親や障がい者等「当事者」を必ず参加させること

<署名運動期間>

2月1日から5月28日の県民集会 まで約4ヶ月間
10万名目標



3) 前半期活動の集約的機会として、**一定規模の県民集会**を開催する。

<すすめる会の総会兼窓口無料化実現県民集会の概要>

開催日時：2017年5月28日（日）

総会：10時30分～12時（予定）、集会：午後1時30分～4時（予定）

開催場所：安曇野市・安曇野スイス村サンモリッツ大ホール

開催内容：①すすめる会年次総会

②子ども・障がい者等の医療費を窓口無料化実現をめざす県民集会

開催規模：250名～300名

開催形式：メイン講演と各界からの意見発表 ⇒上記内容については、後日具体化する。

4) 県当局への緊急申入れと県議会への請願を行う

5) 医療関係団体や幅広い諸団体・個人への申入れ活動を行う。また、マスコミ各社への働き。

6) 上記活動計画を保障する活動資金を確保する。

窓口無料化を求める県への意見書採択が、7割を超す議会に

地区社保協や新婦人、生健会などの協力を得て、12月定例議会にも7議会に陳情・請願を行いました。その結果、不採択2議会（長野市：2回目、小布施町）、継続1議会（飯田市）（また、以前の議会で継続になっていた議会で引き継ぐ継続を決議したのは3議会～安曇野市3回審議未了扱い、御代田町2回目、木祖村2回目）、請願（陳情）採択が4議会（塩尻市、信濃町、辰野町、青木村）**県への意見書採択が同じく4議会**でした。

この内9月議会で不採択をした**塩尻市議会**に対して現地の民医連病院の奮闘もあり、12議会では全会一致で採択を勝ち取り、2回目の不採択となった**長野市議会**の12月定例会では担当委員会が4対5にまで押し上げ、**小布施町議会**でも6対7と僅少さの不採択でした。

こうして請願・陳情活動を意識的に取り組んできた2014年3月議会以降の集計では、請願・陳情採択は、56市町村議会（72.7%）、**県への意見書採択議会**は、11市、18町、26村の55議会となり、**全市町村中71.4%の議会**となりました。